教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のＷｉｎ－Ｗｉｎの関係」の構築

東浦町ＳＰ通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第 24 号
2021 年 9 月 7 日
編集　緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

２学期スタート！！　緒川小学校のSPさん

９月２日、新しく３人のＳＰさんが緒川小のウィークリーＳＰとして加わってくれました。２学期が始まった早々に、３人もの新ＳＰさんが来てくれました。とても嬉しいです。１学期から活動してくれているＳＰさん同様、新ＳＰさんもとても高い志で参加してくれています。泉ＳＰ、伊藤ＳＰ、田口ＳＰ、これからよろしくお願いします！

泉SPは、夏休みに片葩小の「わくわく算数教室」に参加をしてくれました。その時の経験が生きているのでしょう。子どもたちへの接し方がとても柔らかく、また、積極的に声をかけてくれていました。これから教育実習も控えているそうです。実習後も、ウィークリーSP や他の SP 活動にも参加をしていきたいと話してくれました。子どもの横にしゃがんで、目を合わせてくれるこの姿、素敵です。

伊藤 SP は、今まで何度か東浦町内の学校でボランティアをしてくれていました。中学校でのボランティア経験もあったからか、高学年の女子ともすぐに打ち解けていました。そして、「あそこに書いてあるんじゃないかな？」と、きちんと指導する先生の板書に注目をさせてくれていました。SP さんも「チーム緒川」の一員です。それを感じ取ってすぐに動ける伊藤 SP のセンスが素晴らしい！！

田口 SP はなんと、埼玉大学の学生さんです。もともと地元がこちらの方で、夏休みに帰省中とのことでした。「僅かな期間ですが、少しでも愛知県で勉強がしたいです。参加させていただけますか？」と4月当初から連絡をくれていました。2週間の待機期間も経て、満を持しての SP 活動初日でした。「すごい。緒川小に来られて良かった。勉強になる」と連呼していました。これから1か月、東浦町の小学校で目一杯学んでいってくださいね。

翌９月３日や９月６日にもＳＰさんたちが来てくれていました。毎日ＳＰさんが活動している……すごい事実です。先生方のＳＰさんに対する「優しくて熱い想い」とＳＰさん自身のもっと学びたい、現場で経験を積みたいという「強い情熱」が合致しているからこそ、これだけのＳＰさんが来てくれているのでしょう。２学期の東浦町のＳＰ活動も熱いです！ますます熱くなってきたなあと、私も気合が入ります。

９月７日も２人の新しいＳＰさんが来てくれました。

田口 SP は連日来てくれています。この日は初めて特別支援学級に入りました。「すごいパワフルです。大変です。やばいです」と言いながらも、子どもたちと楽しそうに過ごしていました。時には子どもたちを追いかける姿も……。「大変です」という言葉とは裏腹に、生き生きと活動している田口 SP の姿に思わず顔が綻びました。この「大変」を経験することが勉強になる、と歴代の SP さんたちも話しています。田口 SP、ファイト！！

相澤 SP は、「わくわく算数教室」を経て、今日がウィークリーSP として初参加です。養護教諭を目指しているそうで、さっそく1日保健室でみっちり活動していました。現場の先生方の様子をじっくり見て勉強していました。現場に出たら一人で“保健室の先生”を勤めなければなりません。「机上で習っていても、現場に出て実際に子どもの話を聞くと、診断の幅が広くて、全然判断ができません。今、こうして現場で経験をさせていただけて、先生方の対応を見させていただけてよかったです。まだ全然動けないですが、これからたくさん勉強していきたいです！」と話してくれました。午後は特別支援学級でも活動をしてくれました。「せっかくなので、午後も最後までいても良いですか？」と、やる気がすごいです。一つでも多く学ぼうというその意欲が素晴らしいです。緒川小養護教諭の石田先生が話してくださった「最大限ハングリーに動いてね」という心強い言葉を胸に、これからどんどん現場経験を積んでいってくださいね。

茂木 SP は、普段片葩小でウィークリーSP として活躍してくれています。この日は緒川小で初めての活動でした。「学校によってこんなに違うんですね」と、さっそく違いを感じてくれていました。学校それぞれにさまざまな特色があります。それを感じよう、学ぼうとする意欲がさすが茂木 SP、素晴らしいです。緒川小の先生方からも「12月のマラソン大会もぜひ来て！」とスカウトを受けていました。茂木 SP、きっと引っ張りだこですね。

中庭に人だかり?!そして教頭先生と……茂木 SP?!
実は、児童の一人が中庭の池に鍵を落としてしまったそうで、それを捜索してくれていました。池の底は土や草が溜まりヘドロ状態。そんな中、茂木 SP も手掴みで鍵の捜索をしてくれていました。「学校の先生って、こんな事までするの？」と思ったかもしれません。でも、困っている子どもを放っておくことはできません。他の子どもたちも心配そうに集まってきて、みんなで鍵の大捜索！その場にいる全員が「人のために動く」そんな素敵な瞬間でした。(もちろん、探している教頭先生、茂木 SP はそれどころではなかったと思いますが……)そして、探すこと約15分、ついに鍵が見つかった時は、拍手喝采！プチハプニングにさっそく対応してくれた茂木 SP、ありがとう！